

# 塩田跡地にソーラーパネル



【ねらい】自然を生かしていた昔の生活・産業の中での様々な智慧や工夫をより高度に生かす香川の身近な地域社会の中での新たな取り組み事例を示すことにより、エネルギーをいかに効率よく使っていくかを考えさせます。

### 塩田跡地にソーラーパネル



#### 【資料解説】

この写真は、平成24年11月に坂出市林田町塩田跡地で稼働がスタートしたメガソーラー発電所(※1)(坂出ソーラーウェイ)です。

約2MW(メガワット)、一般家庭の住宅用の太陽光発電システムの約600世帯に相当する規模の発電容量(※2)を持っているということです。(平成25年12月末日現在、隣接地にさらに約2MW(メガワット)を建設中(左下図赤枠内参照))

1枚のパネルの大きさは、1m×1.6mで、そのパネルが全部で13,320枚も並んでいます。

#### ●塩づくりから電気づくりへ

昔から日照率が高かった香川県では、かつて坂出を中心に、広大な塩田が開発され、この一帯は、当時は、塩田が広がっていました。

太陽の恵みを、塩づくり(塩田)に生かしていた昔の人々の知恵や工夫、努力を受け継いで、その土地を、今度は、同じく私たちの生活に欠かせない電気づくり(発電)にと、時代にあった形で地域を活用しようとする未来に向けたまちづくりへの人々の思いがこうした取り組みにつながっています。

#### ●温暖で雨の少ない瀬戸内海の気候を生かして

東日本大震災以降、太陽や風、川を流れる水などの自然の力を利用する再生可能エネルギーが注目され、再生可能エネルギーによる発電は、電力会社だけでなく、民間企業の本格参入も進んできています。

日本で一番面積が狭く、山や川も少ない、瀬戸内海から吹く風も強くない等、再生可能エネルギーを導入するには、不利な条件が多い香川県ですが、温暖で雨の少ない瀬戸内海の気候を生かせる太陽光エネルギーを活用したメガソーラー発電所の建設が進んでいます。

※1 メガソーラー発電所…メガワット(1000キロワット)以上の大規模な太陽光発電所のこと。

※2 住宅用太陽光発電システムの平均設置容量を3.0~3.5kWで試算

撮影協力・資料提供：日本アジアグループ(株)

※資料55(香川の塩づくり)と関連付けて使用することで、日照率の高さを生かした昔の塩田が現代のメガソーラー発電所に活用されていることに気づくことができます。



メガソーラーを上から見ると

#### 【関連する各教科の学習内容】

	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
社会	○飲料水、電気、ガスの確保 ○県の地形や産業、県内の特色ある地域				【地理】 ○世界と比べた日本の地域的特色(資源・エネルギーと産業) ○日本の諸地域(産業)(環境問題・環境保全)		
理科		○電気の働き		○電気の利用			【公民】 ○私たちが国際社会の諸課題(地球環境、資源・エネルギー問題) ○私たちが国際社会の諸課題(よりよい社会を目指して) ○エネルギー ○科学技術の発展 ○自然環境の保全と科学技術の利用
技術・家庭(技術)					Bエネルギー変換に関する技術		
家庭					○住生活の工夫		
技術・家庭(家庭)				○快適な住まい方 ○環境に配慮した生活の工夫	○エネルギー変換機器の仕組みと保守点検について ○家庭生活と環境		